

バッハ 無伴奏チェロ組曲 結果：正相

モーリス・ジャンドロン

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲 結果：逆相

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲 結果：逆相

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

まずは、予備テストとして TruPhase の入出力はアンバランスとして、倍賞千恵子の盤を使用して、下記のテストを行いました。

この場合も TruPhase で位相反転させますと音量がぐんと上がりますので、音量調整を容易にするため、Brooklyn DAC+では位相反転させないで、TruPhase で位相反転させた状態で TruPhase のヴォリュームを固定し、TruPhase で位相反転では、Brooklyn DAC+でのヴォリュームでの調整だけにしました。

LINN LP-12→ZANDEN Model 120→Brooklyn DAC+(ライン入力)→

TruPhase→300B シングル

ZANDEN Model 120 N/R N

Brooklyn DAC+ N N/R

TruPhase N N

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌 結果：逆相

倍賞千恵子

その結果、ZANDEN Model 120 でも Brooklyn DAC+でも逆相の方が、ボーカルが中央によって自然に聴こえることを確認できました。

これにより、Brooklyn DAC+の位相反転への関与は分かりましたので、TruPhase の位相反転への関与を調べます。

ZANDEN Model 120 N/R N

Brooklyn DAC+ N N

TruPhase N N/R

ミトマニアでは、ZANDEN Model 120 と TruPhase とともに正相の方が、定位がよく、ボーカルやバックの古楽器群の音の焦点があっています。

バッハの無伴奏チェロ組曲では、ZANDEN Model 120 と TruPhase とともに正相の方が、チェロが真ん中に定位し、音の焦点があってきます。

バッハのチェンバロ協奏曲では、上記とは逆に ZANDEN Model 120 と TruPhase とともに逆相の方が、チェンバロが真ん中に定位し、アンサンブルの音の焦点があってきます。

ワーグナーのワルキューレでは、ZANDEN Model 120 と TruPhase とともに逆相の方が、音像が明瞭になり、ソプラノやメゾソプラノの立ち位置がより明確に把握できます。

4. まとめ

TruPhase での位相反転と ZANDEN Model120 と Brooklyn DAC+での位相反転の結果は、同様の傾向になることが分かりました。なお、位相反転で音量が大きく変わるのは TruPhase だけで、ZANDEN Model120 と Brooklyn DAC+ではそのような現象はありません。

以上